



持続可能な社会へ～リンナイとSDGs～

Rinnai

健全で心地よい暮らしと 持続可能な社会の実現に向けて



リンナイグループは1920年の創業からこれまで、ガスコンロや給湯機器、暖房システムなどの提供を通し、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献してきました。

現在、リンナイグループは世界80カ国以上に商品を展開しています。

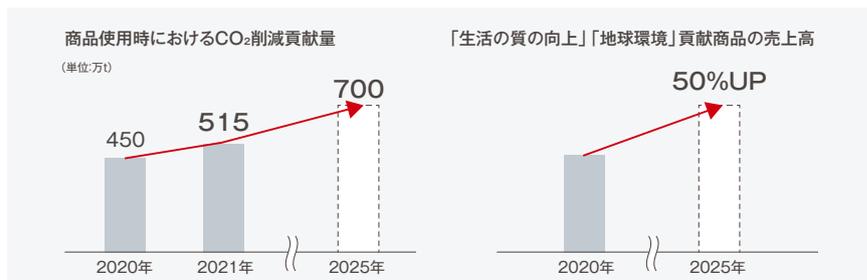
世界各国、それぞれの生活文化・気候条件・エネルギー事情に合った最適なソリューションを提供し、世界中の人々の健全で心地よい暮らしと持続可能な社会の実現に貢献していきます。

リンナイグループは2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、積極的な活動を行ってまいります。

地球環境や生活に密着した商品を社会に提供していることから、その重要性を認識し、さらなる事業活動の展開を図ってまいります。

中期経営計画2021-2025 New ERA 2025

2021年から2025年までのリンナイ中期経営計画「New ERA 2025」では、社会課題解決への貢献として、商品使用時におけるCO₂削減貢献量を700万トン、および「生活の質の向上」「地球環境」貢献商品の売上高を2025年に50%アップすること(2020年比)を目指しています。リンナイは「生活の質の向上」「地球環境」貢献商品の普及を通してSDGsへの取組みを行ってまいります。



ページ	商品名	テーマ	貢献内容	ゴール
03	ハイブリッド給湯器	省エネ性	給湯器のエネルギー効率向上で、地球環境に貢献	
04	ハイブリッド給湯器	レジリエンス	ガスと電気のハイブリッドで、災害時のライフライン確保に貢献	
05	マイクロバブルバスユニット	健康増進	入浴における微細な気泡による温浴効果で、健康生活に貢献	
07	ガス衣類乾燥機	家事の時短化	パワフルなガス乾燥で洗濯作業を時短し、家事負担の軽減に貢献	
09	食器洗い乾燥機	節水	食器洗いでの節水で、水資源の保全に貢献	
10	食器洗い乾燥機	家事の時短化	食器洗いの自動化で、家事負担の軽減に貢献	
11	自動調理機能付きコンロ	家事の時短化	調理の自動化で、家事負担の軽減に貢献	
12	浴室暖房乾燥機	ヒートショック防止	浴室暖房で入浴時の温度差をなくし、ヒートショックの予防に貢献	
13	ガスタンクレス給湯器	省エネ性	給湯器のエネルギー効率向上で、地球環境に貢献	
14	ガスボイラー	大気汚染対策	給湯暖房での石炭燃料からガス式への切り替えて、大気汚染抑制に貢献	

給湯器のエネルギー効率向上で、 地球環境に貢献



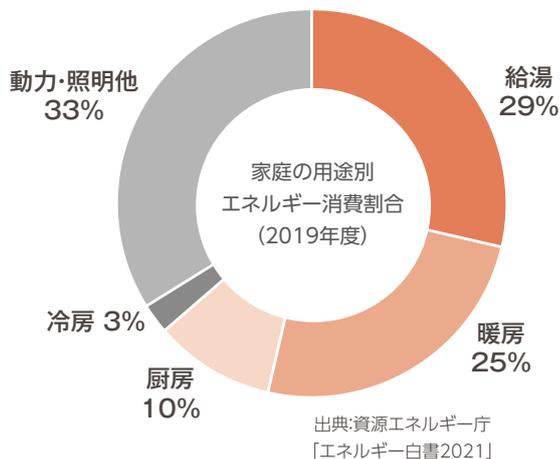
日本の家庭におけるエネルギー消費割合は「給湯」と「暖房」を合わせると約6割に達します。また給湯器の商品ライフサイクルで見ると使用段階で最も多くCO₂が排出されます。

その「給湯」と「暖房」の役割を担う給湯・暖房システムにおいて、リンナイのハイブリッド給湯器はガスと電気をうまく組み合わせてかしこく給湯・暖房を行います。それにより、CO₂排出量を従来型給湯器の半分に抑え、地球環境の保全に貢献します。

リンナイは環境貢献商品の普及拡大によって、2025年までに700万トンのCO₂削減を目指しています。



ハイブリッド給湯器



給湯器CO₂排出量の比較

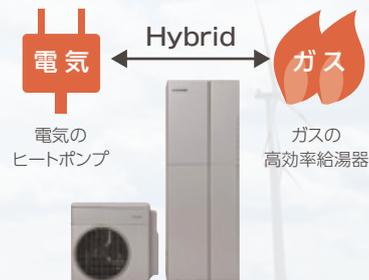




ガスと電気のハイブリッドで、 災害時のライフライン確保に貢献



年々災害に対する意識が高まる中、耐震等級や地震に強い建築構造や工法がこれまで以上に注目されています。しかし、いくら耐震性の高い家でも電気やガス、水道などのライフラインが停止すれば、復旧までの間は不便な生活を送らなければなりません。有事の備えとして、ガスと電気のいずれにも対応したハイブリッド給湯器を使うことでリスクを分散させ、限られたライフラインでもお湯を使うことができます。



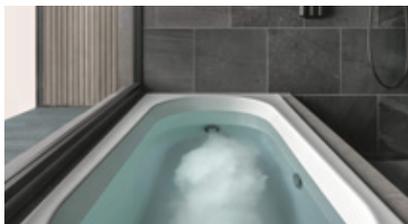
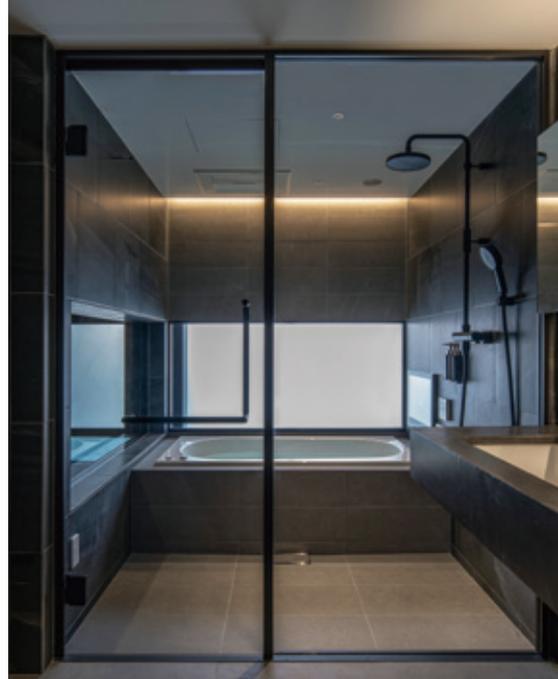
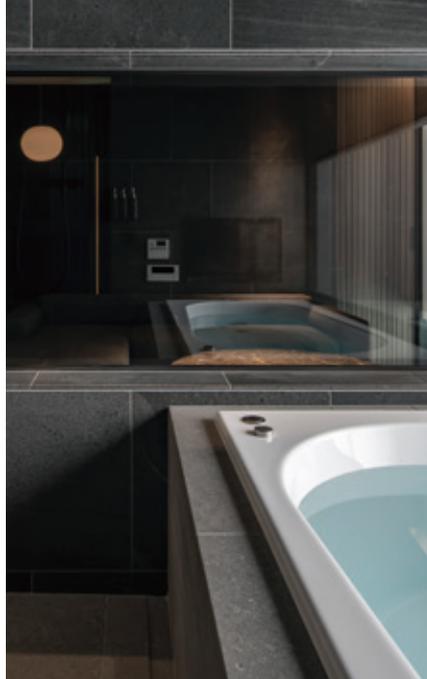
入浴における微細な気泡による 温浴効果で、健康生活に貢献

3

EXTRAC
健康と福祉を



マイクロバブルバスユニットは、浴槽に微細な気泡「マイクロバブル」を噴出します。マイクロバブルは肌や毛穴に浸透し、皮膚の汚れを除去する洗浄効果や温浴効果、リラックス効果など、さまざまな効果を生み出します。入浴の価値を高め、人々の健やかで心豊かな生活に貢献します。

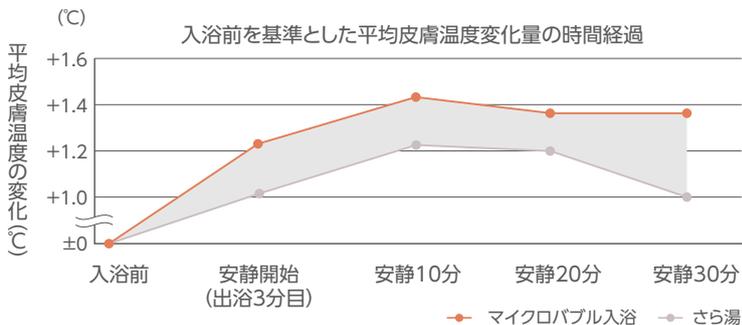


マイクロバブルバスユニット



Micro Bubble Bath Unit

マイクロバブルによる「温浴効果」



<実験条件> 2019年度 東邦ガス株式会社と日本福祉大学の研究/ 被験者:健康な30代女性7名/
浴室環境:室温29°C 湿度97% / 入浴方法:湯温40°Cで10分間の全身浴

気泡が体を包み込むため、お湯から体への熱の伝わりが緩やかになり、ゆっくりと体を温めます。
入浴後は高くなった体温を徐々に放出するため、湯冷めしにくくなり、冷え対策も期待できます。

パワフルなガス乾燥で洗濯作業を 時短し、家事負担の軽減に貢献



ガスで燃焼した温風によって一気に衣類を乾燥します。洗濯物が乾くまでの時間が短くなる上、バスタオルはフカフカに。さらに、天日干しと同レベルの除菌効果もあります。ガスでパワフルに乾かすことで、毎日やらなければならない家事を時短化し、暮らしにゆとりある時間をもたらしてくれます。「家事の負担」も「生活のゆとり」もジェンダー平等になることを目指しています。



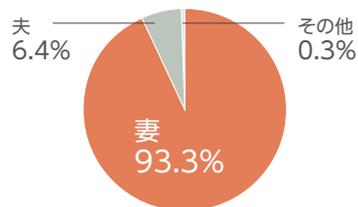
ガス衣類乾燥機



リンナイは「熱と暮らし」、「健康と暮らし」をキーワードに事業を推進する中で、様々な社会課題に対する調査・分析を行い、「熱と暮らし通信」を通じて情報発信しています。

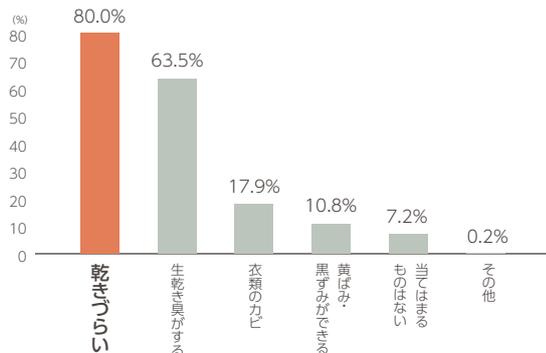
洗濯は妻の仕事?

「あなたのご家庭で、日常的に洗濯を担当しているのはどなたですか」というアンケートで『妻』と答えたご家庭は93%ありました。



リンナイ熱と暮らし通信「洗濯に関する意識調査」2019年5月 N=534

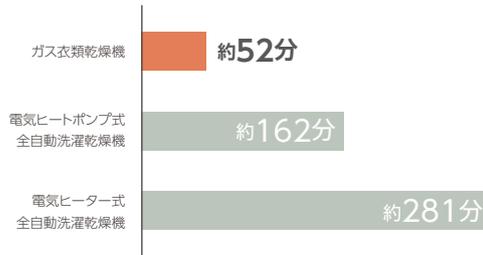
「梅雨時期の洗濯の悩みとして感じていること」というアンケートで『乾きづらい』と答えた方は80%となりました。



リンナイ熱と暮らし通信「洗濯に関する意識調査」2021年5月 N=1,000

パワフルなガス衣類乾燥機なら、たっぷり5kgの洗濯物も約52分で乾燥。電気式の約1/3の時間で済むので、家事の時間を大幅に短縮できます。

乾燥時間の比較(洗濯物 5kg)



食器洗いで節水で、 水資源の保全に貢献

6

安全な水スタイル
を世界中に



食器洗いにおいて、手洗いするよりも食器洗い乾燥機を利用したほうが、約8～9割の節水となります。さらには使用する洗剤においても約5～6割の低減になるため、資源節約や水質汚染の低減にも貢献しています。



食器洗い乾燥機



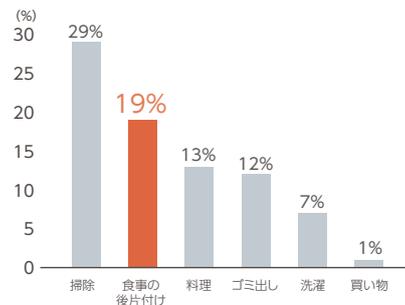


食器洗いの自動化で、 家事負担の軽減に貢献



毎日の食事とともに避けられないのが、食後の後片付け。家族が多ければ多いほどその作業に時間と手間が取られます。この時間を短縮して、空いた時間を家族と楽しく過ごすには、食器洗い乾燥機が有効です。毎日の生活に必要な家事を時短化することで、「家事の負担」も「生活のゆとり」もジェンダー平等なることを目指しています。

「あなたの最も嫌いな家事を一つお選び下さい」というアンケートで「食事の後片付け」が2位となっています。



調理の自動化で、 家事負担の軽減に貢献

5 シンダー早煮も
実現しよう

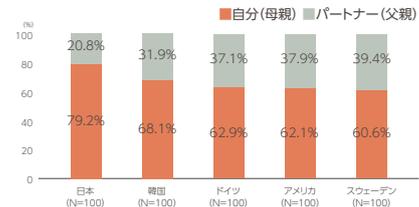


自動調理機能付きコンロは、下ごしらえした材料を入れ、メニューを選ぶと自動で調理してくれます。調理にかかる手間の軽減だけでなく、充実したレシピを取り揃えているので、メニューに悩む時間さえも短縮することができます。難しいレシピでも、誰もが時間をかけずに美味しく料理できるので、家族との食事や団らんで楽しいひとときを過ごせます。



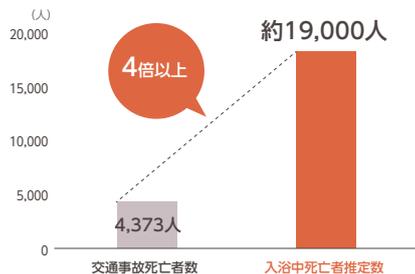
自動調理機能付きコンロ

リンナイ熱と暮らし通信「ワーキングママの育児事情」
2019年2月 N=500



「自分(母親)とパートナー(父親)の育児分担の割合」のアンケートで日本では約8割が「自分(母親)」と答えており、日本は他国に比べて母親の負担が大きい結果となっています。

交通事故死亡者数と入浴中死亡者数の比較(年間)



※出典:警察庁「平成25年中の交通事故死者数について」2013年

浴室暖房で入浴時の温度差をなくし、ヒートショックの予防に貢献



入浴時のヒートショック事故で亡くなる方は年々増加しています。ヒートショックとは、冬場の入浴時に急激な温度変化によって心臓や脳に大きな負荷がかかり、命に関わる重大な状態になる現象です。

浴室暖房乾燥機は、浴室を温めてヒートショックを予防するだけでなく、衣類の乾きにくい冬場の洗濯シーンにも活躍します。

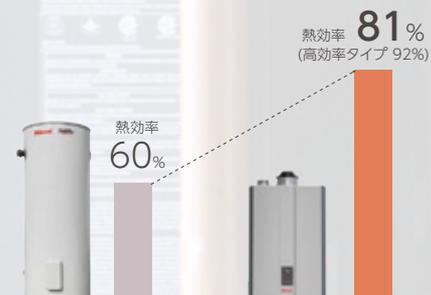


浴室暖房乾燥機

給湯器のエネルギー効率向上で、 地球環境に貢献



海外では日本と違いタンク式の給湯器が一般的です。タンク式の給湯器は、タンク内の大量の水を温めてお湯に変える方式なので使用までに放熱ロスが発生します。タンクレス式の給湯器は、使う時に温めるのでエネルギー効率が良く、地球環境にやさしい給湯器です。世界のタンク式給湯器をタンクレス式に切り替えることで、地球全体のCO₂削減に貢献していきます。



アメリカで主流となっている
ガスタンク式給湯器

リンナイアメリカが推進する
ガスタンクレス給湯器





給湯暖房での石炭燃料から ガス式への切り替えて、 大気汚染抑制に貢献



中国などでは石炭燃料による給湯や温水暖房の利用がまだまだ多く、そこから発生するPM2.5が大気汚染への大きな問題となっています。PM2.5はアレルギーや肺がんのリスクがあるなど、人々の健康に悪影響をおよぼす可能性があります。環境推進の一環となるガスパイプラインの敷設拡大にもなって、石炭使用からガスボイラーへの切り替えを進め、住み続けられるまちづくりを目指しています。



ガスボイラー

リンナイ株式会社

<https://www.rinnai.co.jp/>

